

令和3年7月9日

皆様

北陸信越運輸局 観光部 観光地域振興課
課長 猿谷 克幸
一般社団法人 長野県観光機構 エリアプロデュース部
部長 金子 孝明

令和3年度 地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアー造成等事業
「JAPANESE ALPSを核とした広域周遊型AT商品造成事業」への協力のお願い（依頼）

日頃から観光行政に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、北陸信越運輸局では、一般社団法人長野県観光機構をはじめとした地域の関係者の皆様と連携し、標記事業を実施いたします。

本事業は、中部山岳国立公園を中心とした周辺地域において、富裕層等新たなインバウンド層への訴求力が高く、長期滞在に資する滞在型コンテンツやツアー等を造成するとともに、広域地域における取組体制を構築し、各地における消費機会の拡大に繋げることを目的としています。そのために必要な、地域固有の文化資源、自然資源等の観光資源の活用・磨き上げ、コーディネーター・ガイド人材の育成などを実施してまいります。

つきましては、本事業へのご参画をお願いするとともに、まずはアドベンチャーツーリズム（以下AT）に関しての各地域の皆様の取組状況やコーディネーター・ガイド人材、観光資源等についてお伺いしたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 事業目的

本事業は、中部山岳国立公園を中心とした地域において、地域固有の文化資源、自然資源等の観光資源の活用・磨き上げ、コーディネーター・ガイド人材の育成などを実施し、富裕層等新たなインバウンド層への訴求力が高く、長期滞在に資する滞在型コンテンツやツアー等を造成するとともに、広域地域における取組体制を構築し、ATの推進を図ることを目的とする。

2. 事業概要

域内で AT に取り組む意思を持つ事業者等を主たる構成員とし、下記項目を実施する。

- (1) 地域の AT 関係事業者の現状調査、AT の販路拡大に向けた国内外調査
- (2) 検討会の開催
- (3) ガイド育成
- (4) コーディネーター育成及びモデルツアー造成
- (5) モニターツアーの実施
- (6) モデルツアーのとりまとめ及び原稿作成
- (7) 販路形成及び販売体制構築

3. 依頼内容

構成員には (1) への協力・(2) への参画とあわせ、(3) ガイド育成、(4) コーディネーター育成及びモデルツアー造成のコーディネーター・ガイド人材候補人材の紹介を依頼したい。参加者要件詳細は別紙 1

◆今後の予定

1. 検討会

- ・ 第一回検討会

日程：8月10日（火）13：00～

会場：長野県大町市「大町商工会議所 大会議室」にて

内容：本事業の目的と概要、構成員・事務局・受講者自己紹介、顔合わせ

- ・ 第二回検討会

日程：9月30日

会場：オンラインでの実施を想定

内容：進捗報告・10月19日開始予定のモニターツアーに関する確認留意事項等

- ・ 第三回検討会

日程：12月上旬

会場：後日開催場所決定後に通達

内容：FW 実施速報、年明け商談会に関する確認留意事項等

- ・ 第四回検討会

日程：1月下旬

会場：後日開催場所決定後に通達

内容：商談会速報、モデルコース、次年度取組

2. コーディネーター・ガイド育成プログラム

コーディネーター・ガイド育成プログラムは、全6回程度を予定しており（実地、オンライン含む）、原則、全プログラムにご参加いただき、座学及び実地研修は一部英語で実施することを想定しております。（受講生の方は全プログラム参加が必要）

3. モニターツアー

モニターツアーに関しては10月中旬ごろ、中部山岳国立公園エリアにて4泊5日程度で実施を想定（受講生の方は、モニターツアーに関しては参加は必須ではなっていないが、希望者に関しては可能な範囲で同行も可能 受講生の方の同行時の旅費に関しては一部負担を想定）

4. 商談会

1月中旬ごろをめぐり、欧米のバイヤー、国内に拠点を置き、AT顧客を取り扱う、もしくは今後取り扱う意思のある旅行会社等との商談会実施を想定

依頼事項

1. 別紙1のコーディネーター・ガイド人材育成プログラム研修生募集要項をご確認の上、想定される参加候補者への周知をお願いいたします。

※コーディネーター・ガイド応募期限：令和3年7月27日（火）正午12:00

2. AT 関しての各地域の皆様の取組状況やコーディネーター・ガイド人材、観光資源等に関するWEBアンケートを準備しております。つきましては域内のATにお取り組みまれる事業者様（※1）への展開にお力添えください。

（※1 域内旅行会社、旅行業免許を持つ観光協会など、コーディネーターと成り得るガイド・地域商品サプライヤー・ランドオペレーター等を想定）

アンケート URL: <https://forms.gle/eu2DBQAYYVAGESvB8>

※アンケート入力期限：令和3年7月27日（火）正午12:00

【お問い合わせ（本事業受託事業者）】

株式会社 JTB 長野支店 担当：中乗・坂本

E-mail: s_nakanori866@jtb.com

お問い合わせはメールでお願いいたします。

TEL：026-227-2162／080-7712-7551

〒380-0823 長野県長野市南千歳1-12-7

<参考>



◆本事業全体の実施概要

(1) 地域のAT関係事業者の現状調査	対象地域のAT関係事業者に海外のATトラバラーに対する取組状況や観光資源について調査を実施し、現状と課題を把握したうえで今年度事業に活用するとともに、来年度以降の取組の方向性を明確にする。	(1) 現状調査とAT推進の方向性示唆導出
(2) 検討会の開催	広域地域における取組体制の構築、事業進捗確認、参加者の意見交換の場として定期的に検討会を開催する。	(2) 検討会の開催
(3) ガイド育成	AT専門家を講師として招いて座学及び実地研修を実施し、対象地域に精通しストーリー仕立て地域を語りツアーそのものを演出できるガイド人材の育成を行う。 なお、ガイド育成においてはATトラベルガイドの基本的能力として求められる5項目（1. 技術的能力、2. ウィルダネス・ファーストエイド（野外・災害救急法）と応急処置、3. カスタマーサービス及び団体マネージメント、4. 自然史・文化史の解説（内容を伝える技術）、5. 持続可能性）のうち、3と5に関して、既存のガイド教育プログラムと重複しないポイントをAT観点でどのようにツアーに反映させていくと望ましいかについての研修を行うこと。 ここで育成されたガイドは（7）で実施されるBtoB商談会でのマッチングへの参加を目標とする。	(3) ガイド育成プログラム
(4) コーディネーター育成及びモデルツアー造成	AT専門家を講師として招いて座学、ワークショップ及び実地研修を実施し、対象地域の地上手配を総括的に行える組織に所属し、地域の観光素材を総合的にコーディネートできる人材の育成及びモデルツアー（現地着地型ツアー、ガイドツアー、最寄り駅からの交通含むユニット等）の造成を行う。	(4) モデルツアー造成を目指したコーディネーター育成プログラム
(5) モニターツアーの実施	（4）で造成したモデルツアーをエンドユーザー目線で課題抽出及び磨き上げを行うため、対象市場出身（日本在住者でも可）の旅行会社等を招請しモニターツアーを実施する。	(5) モニターツアーによる磨き上げ
(6) モデルツアーのとりまとめ及び原稿作成	参加各県の英語ウェブサイト等でモデルツアーの情報発信及び販売ができるよう、事業を通して造成されたモデルツアーをとりまとめ、原稿作成を行う。	(6) MICへの取りまとめ
(7) 販路形成及び販売体制構築	BtoB商談会を実施し、令和4年度中に本事業で造成したモデルツアーの販売が開始できるように、販路形成及び販売体制の構築を行う。	(7) オンライン商談会の開催

本事業におけるコーディネーター・ガイド人材の育成の特徴と概要

本事業における人材育成プログラムでは、以下の3つの特徴を持ったATに関する全国でも貴重な学びの機会を提供いたします。

- 特徴①** **ガイド育成プログラムとコーディネーター育成プログラムの同時開催による、実践的な知識とスキル**
これまでガイド育成とコーディネーター育成は別々に行われてきたが、双方の役割・スキル理解はそれぞれの業務を行っていく方にも非常に有益です。ATに欠かせない、2つの重要な役割に関する基礎知識・スキルが学べる貴重な機会です。
- 特徴②** **知識・スキル習得だけでなく、商談会をゴールとした実売も見据えた人材育成プログラム**
人材育成は重要ですが、知識やスキル獲得がゴールではありません。本事業では、育成する人材の今後も見据えて、実際の販売に向けた旅行会社との商談会を含んだプログラムとすることによって、受講者のビジネス拡大に繋がることを目指しています。
- 特徴③** **実践的なスキルを有する講師陣による、ワークショップやフィールド実践を中心としたプログラム**
山岳ガイドとして現役で活躍するガイドである加集氏を取りまとめ役とし、スキルと志の高い現役ガイドを中心とした講師陣が、知識だけでなく実践的なスキル獲得に向けた指導を行います。コーディネーター育成でもワークショップを通じたツアー造成の実践や、造成したツアーに基づくフィールド実践を通じた磨き上げを中心に実践的なスキルを高めます。

ガイド・コーディネーターパートプログラムとりまとめ役		種別	回数	日程	プログラム概要
 <p>加集 安行 <ガイド研修></p>	<p>合同会社W-A-s-o-b-i代表 信州登山案内人、長野県地域通訳案内士(英語)、地域限定旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、Wilderness Medical Associate Internationalプロフェッショナルレベル、堀金登山案内人組合 所属、NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 所属</p>	ガイド研修	第1回	8月12日	ATガイドのポイント理解と基礎項目の知識と実践
		第2回	9月2-3日	グループマネジメント、リスク管理、インタープリテーション、サステナビリティについての知識と実践	
 <p>國谷 裕紀 <コーディネーター研修></p>	<p>JTB霞が関事業部/ATTA 地域支店から海外教育団体販促・企画部門、グループシグナタック出身を経て、JTB霞が関事業部に在籍。日本におけるATTAの活動における調整支援等を担う。各地のAT関連事業や2021ATWSに際して、PSAの設計・運営等にコーディネーター観点での支援を務める。</p>	コーディネーター研修	第1回	8月11日	AT市場概要、取り組みの意義、目指すべき人材像、講習基礎項目
		第2回	8月23-24日	AT顧客理解とツアー造成実践	
		第3回	9月30日	モニターツアーに向けた行程磨き上げ	
		モニターツアー（同行加）	10月中旬～下旬想定	造成したツアーのモニターツアーを想定。受講生の方でご希望の方は同行していただくことも可能です（一部旅費補助検討）	
		第4回	11月中旬	販売に向けた催行体制・情報整理とプレゼンテーション	
第5回	12月中旬	実売に向けた旅行会社との商談会			

【本プログラムを通じて獲得できるスキル】

コーディネーターとして習得しておくべき5つのスキル

- ・ AT ツアーにおけるコンセプトとストーリーの重要性
- ・ AT ツアー造成の理論と実践法
- ・ AT ツアーの評価点の理解
- ・ AT ツアー実売に向けて求められる準備

・AT ツアーの商談に求められるノウハウ

AT ガイドとして習得しておくべき下記5つのスキルのうち、3, 4, 5を中心とした部分

1. 技術的能力、
2. ウィルダネス・ファーストエイド（野外・災害救急法）と応急処置、
3. カスタマーサービス及び団体マネージメント、
4. 自然史・文化史の解説（内容を伝える技術）、
5. 持続可能性

◆アドベンチャーツーリズムとは

アドベンチャーツーリズム（AT）とは、「自然」「文化体験」「アクティビティ」の3つの要素のうち、2つ以上で構成される体験型の旅行形態である。欧米豪を中心に72兆円の市場があり、高付加価値アクティビティ体験や長期滞在等の要因から、通常の旅行者の約2倍の消費をされている。アクティビティを通じ、地域の自然・文化を体験することで、旅行者自身が新しい・多様な価値観に触れ、自身の内面が変わっていくような旅のスタイルである。

以 上